

令和 4 年 4 月 1 日

調布市福祉健康部福祉総務課

調布市社会福祉協議会

## 令和 4 年度地域福祉コーディネーター事業の概要等

## I 相談支援

## ◆ アウトリーチ等を通じた継続的支援の取組

## 1 取組の概要

潜在的な支援ニーズを抱える者を早期に把握するための体制構築に向けた取組を行うとともに、本人やその世帯とのつながりを形成するための支援や拠点の整備等に向けた取組を行う。

## 2 具体的な取組内容等

## (1) 地域住民の相談を包括的に受け止める場の整備

## ア 事業内容

地域にアウトリーチし、地域生活課題に関する相談を受け止め、地域住民や関係機関とともに解決を図る地域福祉コーディネーターを 8 人配置する。また、地縁組織やひだまりサロン、ボランティア団体等の取組の中で地域生活課題を把握できるよう働きかけるとともに、地域住民主体による相談を包括的に受け止める場の構築を目指す。

## イ 期待される効果

相談を包括的に受け止める場を地域の中に重層的に整備することで、地域生活課題の早期発見・早期解決が図られる。

## ウ 取組目標

## ・量的目標

団体等への働きかけ 40 回

## 場の構築の検討 8 回

### ・質的目標

「地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備」等とも連動を図りながら、地域における重層的な相談支援体制の構築を目指す。

## (2) 地域の関係者等との連携による地域生活課題の早期把握

### ア 事業内容

多機関の協働による包括的支援体制構築の取組と連動し、各福祉圏域に関係機関によるネットワークの構築を図る。

### イ 期待される効果

各福祉圏域の地域特性を生かしながら関係機関のネットワークを構築することで、一つの機関だけでは解決しづらい複合的・多問題を抱えた世帯に対し、チームアプローチによる支援に取り組むことができる。また、地域住民主体の相談の場とも連携を図ることで、フォーマル・インフォーマルを有機的に組み合わせた、ソーシャルサポートネットワークの構築が期待できる。

### ウ 取組目標

#### ・量的目標

各福祉圏域において圏域別専門職ネットワーク会議を開催する。

#### ・質的目標

福祉分野の機関だけではなく、医療や商業者等、多様な分野の機関との連携を構築する。

## ◆ 多機関協働の取組

### 1 取組の概要

各福祉圏域で活動する地域福祉コーディネーター（相談支援包括化推進員兼務）が複合的な生活課題を抱える相談者に対し、豊富な既存資源を活用し、多分野で連携できる会議体等のネットワークを構築し、課題

解決に向けたケース検討を行いながら支援を行う。相談支援包括化推進員は、地域にアウトリーチし、地域生活課題を発見し、受け止めるとともに、多機関連携により課題の解決に取り組む。

## 2 具体的な取組内容等

### (1) 地域住民の相談を包括的に受け止める場の周知

#### ア 事業内容

地域住民の相談を包括的に受け止める場について、その存在と役割等の周知を図る。

#### イ 期待される効果

認知度が上がることで、問題が発生した時に相談しやすい環境が構築できる。

#### ウ 取組目標

##### ・量的目標

啓発件数 800 回

地縁組織や関係機関への会議やイベント等へ出向いて啓発していく。また、社会福祉協議会が実施している小地域交流事業等においても啓発する。

##### ・質的目標

地縁組織や関係機関への周知のほか、社会福祉協議会が実施している小地域交流事業等、各地域のイベントにおいても広報し、相談を包括的に受け止める場の認知度を高める。

## II 参加支援

### 1 取組の概要

本人やその世帯の支援ニーズを踏まえた丁寧なマッチングとメニューづくり、本人やその世帯への定着支援・フォローアップ、地域における社会資源の活用体制構築等を行う。

### 2 具体的な取組内容等

#### (1) 個別性の高い支援ニーズに対する取組

## ア 事業内容

社会参加に向けた既存の事業では対応できない本人のため、本人やその世帯のニーズや抱える課題などを丁寧に把握し、地域の社会資源や支援メニューとのマッチングを目指した継続的な支援を行う。

## イ 期待される効果

社会参加に向けた既存の事業では対応できない狭間の個別ニーズに対応するため、本人やその世帯の支援ニーズと地域の社会資源との間の調整を継続的に行うことで、多様な社会参加の実現が期待できる。

## ウ 取組目標

### ・量的目標

複合課題を有するケースに対する継続支援 300件

### ・質的目標

既存の各制度における社会参加支援に向けた支援では対応できない個別性の高い支援ニーズを有している人に対し継続的に支援を行うことで、多様な社会参加の実現を目指していく。

## (2) 狭間のニーズに対する受け皿の拡充に向けた取組

## ア 事業内容

既存の社会資源に働きかけたり、既存の社会資源の拡充を図り、本人やその世帯の支援ニーズや状態に合った支援メニューをつくることを目的に、本人やその世帯と社会とのつながりづくりに向けた支援を行う。

## イ 期待される効果

本人やその世帯の社会参加に向けた支援を行うために、社会福祉法人や企業等へ働きかけを行うことで支援メニューを増やすことが期待できる。

## ウ 取組目標

### ・量的目標

社会福祉法人や企業等及び既存の社会資源等への働きかけ  
300件（8圏域合計）

・質的目標

社会福祉法人や企業及び既存の社会資源等へ多様な支援メニューが作られるよう働きかけることで狭間のニーズを有する者の受け皿としての機能を拡充していく。

### Ⅲ 地域づくりに向けた支援

#### 1 取組の概要

介護，障害，子ども，生活困窮の地域づくりに係る事業を一体として実施し，地域社会からの孤立を防ぐとともに，地域における多世代の交流や多様な活躍の場を確保する地域づくりに向けた支援を実施する。

#### 2 具体的な取組内容等

##### (1) 地域づくりに向けた支援

###### ア 事業内容

自治会等の地縁組織，ひだまりサロン，地区協議会，関係機関等に対して，地域住民自らが地域生活課題を主体的に捉え，解決を試みることができるよう働きかけ，支援を行う。

###### イ 期待される効果

地域生活課題を主体的に考える意識を醸成することで，各種団体の取組がより推進されるとともに，地域活動に参加する人が増える。

###### ウ 取組目標

・量的目標

80団体に対し，話し合いの場づくりやイベント等の取組への働きかけを230回行う。

・質的目標

話し合いの場の創出等により，地域住民が主体となって地域生活課題に関われるよう働きかけることで，地域住民の意識や行動の変化を促す。

## (2) 地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備

### ア 事業内容

地域生活課題を抱えた方も参加しやすく，誰もが気軽に立ち寄り交流できる地域住民主体の拠点の整備について，地域住民や関係機関とともに検討を進める。

### イ 期待される効果

ひだまりサロンや社会福祉法人等，既存の地域資源の活用を通して，地域住民の交流，孤立防止，見守り体制の構築，個別ニーズ及び地域ニーズの把握，地域福祉の担い手の発掘等が期待できる。

### ウ 取組目標

#### ・量的目標

ひだまりサロン等，交流の場の新規立ち上げ 8 箇所  
常設の拠点の検討 1 箇所

#### ・質的目標

ひだまりサロン等を地域生活課題を発見する拠点にするとともに，地域福祉の担い手の発掘等につなげる。また，常設の拠点の整備を目指し，地域住民及び関係機関による話し合いの場を設けるとともに，地域資源の活用について働きかけを行う。

## (3) 地域住民等に対する研修の実施

### ア 事業内容

地域住民等に対し，地域生活課題の理解促進を図る取組（講座・勉強会・視察等）を実施する。

### イ 期待される効果

この取組に参加することで，住民一人ひとりが地域生活課題を発見・把握・理解し，地域生活課題への興味・関心を持ち，地域福祉活動に主体的に関わっていくきっかけをつくる。

ウ 取組目標

・量的目標

15回

・質的目標

地域住民等に向けた講座・勉強会・視察等を実施することで、意識及び行動の変化を促す。